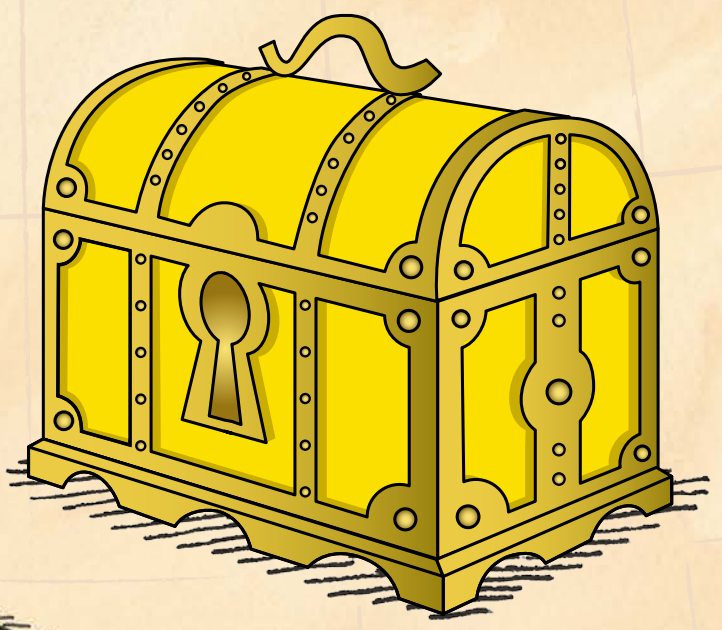
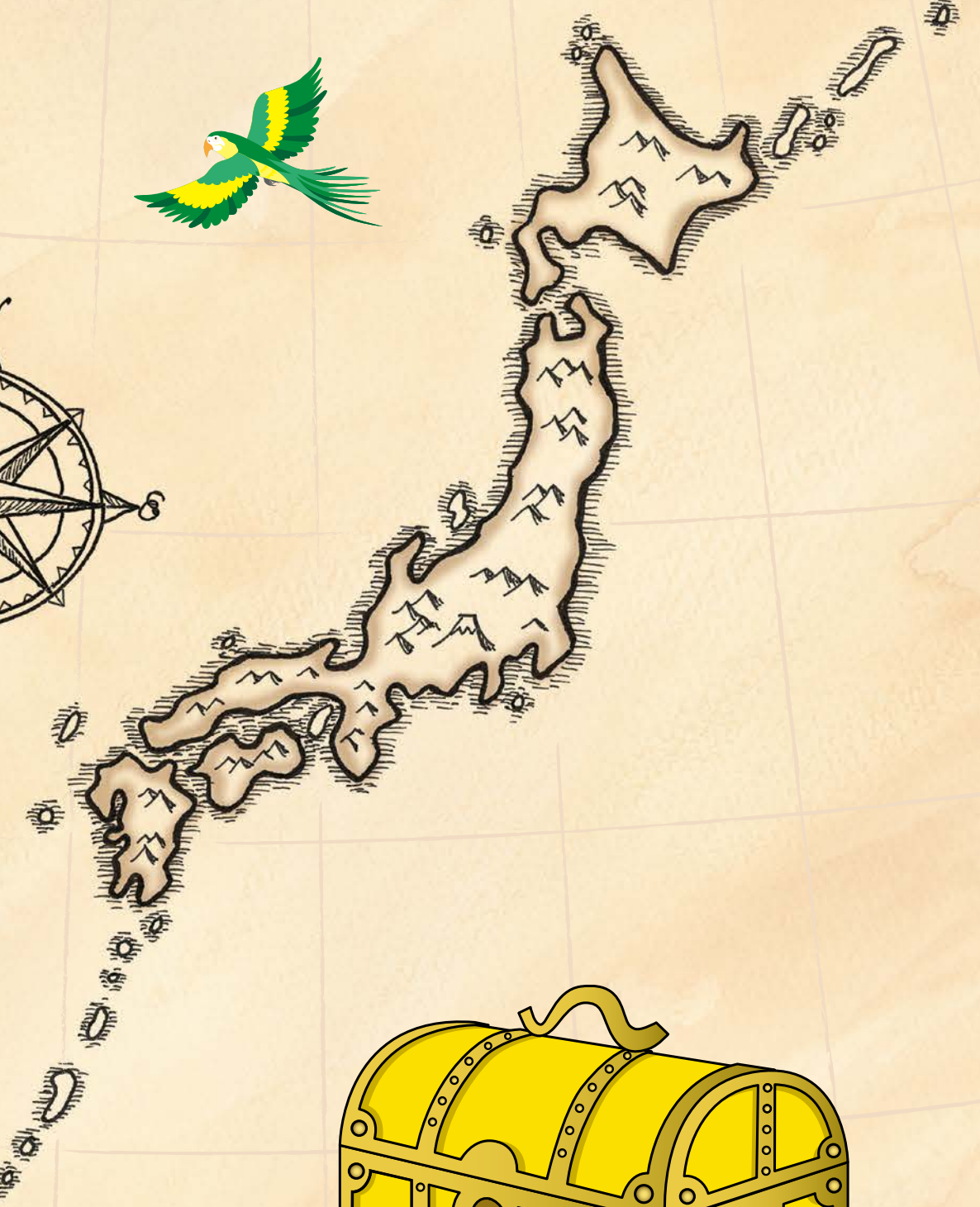
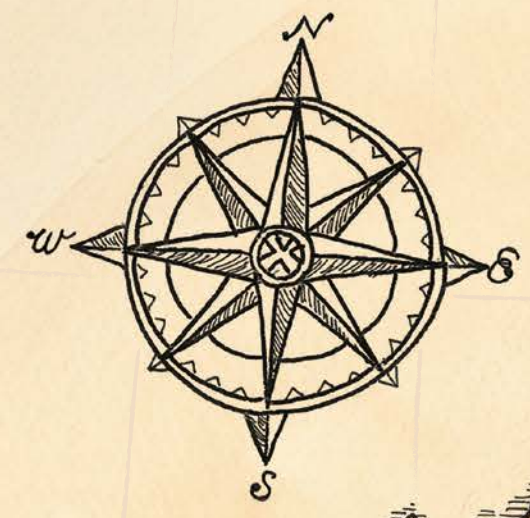


JA共済 地域貢献活動 REPORT 2024



JA共済
地域貢献活動アンバサダー
ティモンディ
(左:前田裕太、右:高岸宏行)

農家のために 地域のために 明日のために
JA共済の地域貢献活動
©2017 JA-KYOSAI
<https://social.ja-kyosai.or.jp/>



お問い合わせ先
全国共済農業協同組合連合会(JA共済連)
全国本部 農業・地域活動支援部 地域貢献運営グループ
〒102-8630 東京都千代田区平河町 2-7-9 JA共済ビル



はじめに

JA共済は、組合員・利用者の皆さまが、住み慣れた地域で、豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに貢献するために、地域の皆さまとの絆を大切にしながら、共済事業と地域貢献活動に取り組んでいます。
本冊子では、JA共済が取り組むさまざまな地域貢献活動を紹介します。

JA共済事業の使命

- JA共済は、農業協同組合が理念とする「相互扶助」を事業活動の原点とし、常に組合員・利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」を提供します。
- JA共済は、最良の保障・価格・サービスによる「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じて、組合員・利用者の豊かな生活づくりに努めます。
- JA共済は、事業活動の積極的な取り組みを通じて、豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに貢献します。

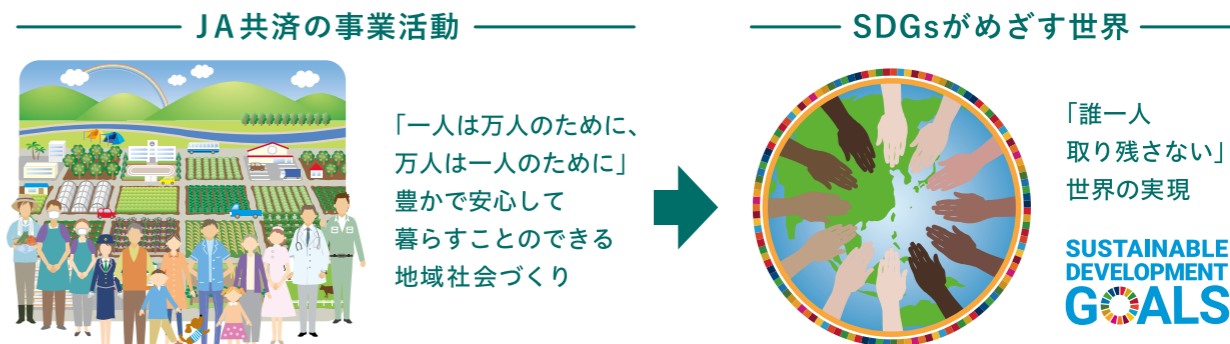
JA共済の取り組み

JA共済は保障の提供と地域貢献活動を通じて、地域社会へ「安心」と「満足」の輪を広げていきます。



JA共済のSDGsへの取り組み

私たちJA共済は、「一人は万人のために、万人は一人のために」という「相互扶助(助け合い)」を事業理念に、保障の提供と地域貢献活動を通じ、組合員・地域の皆さまが豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりをめざしてきました。
このような取り組みの一つひとつが、SDGsの実践そのものであり、SDGsがめざす世界の実現につながると考えています。



JA共済のSDGs取組方針

保障・サービスの提供や地域貢献活動等の事業活動を実践し、JA共済の事業基盤である農業と地域社会の持続可能性を確保します。

1. 健康で豊かな生活への貢献

保障提供をはじめ、健康管理・増進や介護・福祉に資するサービスおよび地域貢献活動の取り組みにより、健康で豊かな生活づくりに貢献します。

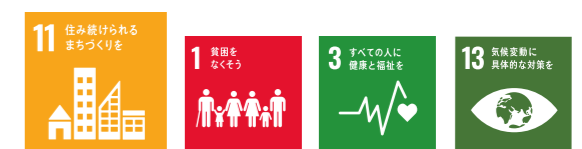
貢献する主なSDGs目標



2. 安全・安心を実感できる地域社会づくり

保障提供をはじめ、防災・減災・事故防止に資するサービスおよび地域貢献活動の取り組みにより、安全で安心を実感できる地域社会づくりに貢献します。

貢献する主なSDGs目標



3. 持続可能な農業への貢献

農業振興・農業者所得増大・農業リスク軽減に資する保障・サービスや地域貢献活動の取り組みにより、持続可能な農業に貢献します。

貢献する主なSDGs目標



4. 地球環境への貢献

温暖化防止や環境保護に資する取り組みにより、気候変動に代表される地球環境問題の解決に貢献します。

貢献する主なSDGs目標



数字で見るJA共済の取り組み

JA共済はすべての組合員・利用者の皆さまのお守り
となれるように、さらに歩みを進めていきます。



保障の提供

ひと・いえ・くるまの総合保障

充実した保障の提供を通じて、
皆さまの毎日の暮らしに安心をお届けしています。



●生命総合共済(保有契約)

加入件数 …………… 2,170 万件

保障共済金額 …………… 79兆4,382 億円



●建物更生共済(保有契約)

加入件数 …………… 909 万件

保障共済金額 …………… 137兆5,270 億円



●自動車共済(保有契約)

加入件数 …………… 818 万件

●自賠償共済(保有契約)

加入台数 …………… 650 万台



令和5年度(令和6年3月末まで)

にお支払いした共済金 …………… 3兆6,422 億円

万一のときや満期のときなどに共済金をお支払いすることで、
多くの皆さまにお役立ていただきました。

■令和6年3月末実績

地域貢献活動

ひと、いえ、くるま、くらし・営農に関する地域貢献活動

健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりのために、
さまざまな活動を展開しています。



●レインボー体操

これまでの参加人数 …………… 79 万人以上

●健康教室

これまでの参加人数 …………… 13 万人以上



●災害シートの無償配布

これまでの配布枚数 …………… 32 万枚以上

●災害キットの無償配布

これまでの配布セット数 …………… 13 万セット以上



●世代別交通安全教室(幼児向け/生徒向け/シルバー世代向け)

これまでの参加人数 …………… 341 万人以上

●交通安全診断(シルバー世代向け/全世代向け)

これまでの参加人数 …………… 11 万人以上



●小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクール

これまでの応募点数

書道 …………… 6,215 万点以上

交通安全ポスター …………… 971 万点以上

■令和6年3月末累計実績

「地域・農業活性化」に向けた自己改革の取り組み


約1,900万人の方々に参加していただきました


JAグループでは、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」としての社会的役割を果たすため、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標に不断の自己改革を進めています。


これを踏まえ、JA共済では、平成28年度に「地域・農業活性化積立金」を創設し、従来から行っていた健康管理・増進活動や災害救援、交通事故対策活動などの「ひと」「いえ」「くるま」分野の地域貢献活動に加え、地域の実情に応じた「くらしや営農」に関するさまざまな活動に、JAと一体となって取り組んできました。


平成28年度から令和5年度の8年間における各領域の活動件数は約3万8,000件(累計)にのぼり、イベントなどの活動には約1,900万人(のべ)の方々に参加していただきました。


地域・農業活性化積立金を活用した各領域の活動実績

	主な取り組み	活動実績
 <p>営農分野 (農業全般)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 農業振興活動 	食育イベントの開催、農業体験の実施	〈参加人数〉 約229万人
	農作業効率化に向けた先進機器等の寄贈	〈寄贈先〉 1,341か所 (うちドローン89台)
	農業高校・農業大学校への農作業機械等の寄贈	〈寄贈先〉 375校
	地域特産物のPRイベントの開催、資材作製等	〈活動件数〉 1,791件
	JAまつり等の開催・協賛	〈参加人数〉 約794万人
	地産地消促進活動への支援	〈活動件数〉 724件
	担い手サポートセンターを通じた活動支援	〈活動件数〉 61件
	直売所におけるイベントの開催	〈参加人数〉 約241万人
	直売所の設備強化	〈活動件数〉 554件
	新規就農・労働力不足への支援	〈活動件数〉 236件
鳥獣被害対策	〈活動件数〉 1,421件	

	主な取り組み	活動実績
 <ul style="list-style-type: none"> ● 文化支援活動 ● 生活支援活動 ● 環境保全活動 ● 協同活動 	移動購買車の寄贈	〈寄贈数〉 142台
	救急自動車の寄贈	〈寄贈数〉 40台
	子育て支援イベントの開催	〈参加人数〉 約125万人
	高齢者生活支援の実施	〈活動件数〉 1,212件
	女性大学・婚活等 各種イベントの開催	〈参加人数〉 約92万人
	防犯カメラの寄贈	〈寄贈数〉 1,702台
	スポーツ大会の開催・協賛	〈参加人数〉 約282万人

	主な取り組み	活動実績
 <ul style="list-style-type: none"> ● 健康管理・増進活動 ● 介護・福祉活動 	検診車の寄贈	〈寄贈数〉 16台
	血圧計の寄贈	〈寄贈数〉 1,124台
	AEDの寄贈	〈寄贈数〉 1,359台
	健康教室・イベントの開催・助成・協賛	〈参加人数〉 約70万人
	健康診断・人間ドック等の助成	〈参加人数〉 約71万人
	車いすの寄贈	〈寄贈数〉 958台
	介護予防教室の開催(デイサービス含む)	〈参加人数〉 約4万人

	主な取り組み	活動実績
 <ul style="list-style-type: none"> ● 防災・防火対策活動 	防災教室・イベントの開催	〈参加人数〉 約34万人
	防災用品の寄贈等	〈活動件数〉 482件

	主な取り組み	活動実績
 <ul style="list-style-type: none"> ● 交通事故未然防止活動 ● 交通事故被害者支援活動 	交通安全指導車の寄贈	〈寄贈数〉 177台
	交通安全啓発資材の寄贈等	〈活動件数〉 468件
	交通安全教室・イベントの開催	〈参加人数〉 約21万人

活動件数(累計) 約3万8,000件

参加人数(のべ) 約1,900万人



SDGsがめざす世界の実現に向けた JA共済の地域貢献活動の紹介

P9~12

1

健康で豊かな生活への貢献

健康管理・増進や介護・福祉に資する取り組みにより、健康で豊かな生活づくりに貢献します。

- 健康管理・増進に向けた取り組み
- 交通事故被害者の社会復帰支援に向けた取り組み
- 次世代を担う子どもたちの文化支援に向けた取り組み



P13~18

2

安全・安心を実感できる地域社会づくり

防災・減災・事故防止に資する取り組みにより、安全で安心を実感できる地域社会づくりに貢献します。

- 災害支援に向けた取り組み
- 防災・減災に向けた取り組み
- 交通事故未然防止に向けた取り組み



P19~22

3

持続可能な農業への貢献

農業振興・農業者所得増大・農業リスク軽減に資する取り組みにより、持続可能な農業に貢献します。

- 農作業事故未然防止に向けた取り組み
- 県域における農業の活性化に向けた取り組み

地域貢献活動で実践しているSDGs目標

P23~24

4

地球環境への貢献

温暖化防止や環境保護に資する取り組みにより、気候変動に代表される地球環境問題の解決に貢献します。

- フード・マイレージ低減に向けた「地産地消」支援の取り組み

地域貢献活動で実践しているSDGs目標

P25~36

5

地域の実情に応じたさまざまな地域貢献活動

協同の力で助け合いの輪を日本中に

安全・安心な地域社会の実現や皆さまの生活をより豊かにするために、全国各地で地域の実情に応じたさまざまな活動に取り組んでいます。

どんな活動に出合えるのか
わくわくしてきました。
各地のお宝を探しながら
進みましょう!!



ちいきめぐり号に乗って
JA共済の地域貢献活動を
SDGs取組方針に沿って見に行こう!

健康で豊かな生活への貢献

健康管理・増進や介護・福祉に資する取り組みにより、健康で豊かな生活づくりに貢献します。



健康管理・増進に向けた取り組み



> レインボー体操の普及

心臓に負担をかけないやさしい動きで、全身の血液の流れをよくするJA共済オリジナルの健康体操です。立っても、座っても、寝ていてもできるため、体力に自信のない方や高齢者にも安全に行っていただけます。いろいろな音楽に合わせて楽しく体を動かしながら、病気予防・健康づくりを推進しています。



> ちょいムズチャレンジの開催

親子で体を動かす楽しさを体験していただく運動プログラムです。「幼児期運動指針」(文部科学省)に基づく「幼少期に身につけたい36の基本動作」のうち、「なげる」「うつ」「ける」の3つの動作を中心に、ゲーム形式で遊びながら体験するイベントを開催しています。



> 健康・介護ほっとラインの開設

生活習慣病予防や肥満などの健康相談、医療機関の情報提供、育児・介護などのご相談を専門スタッフがフリーダイヤルでお受けしています。

※医師・栄養士による専門的な相談は、予約になる場合もございます。

シアワセイチバン コンサルタント

0120-481-536

無料 受付時間 24時間・365日

看護師・介護支援専門員
(ケアマネジャー)・医師(精神科・心療内科を除く)・栄養士による親身な対応

●お名前は伺いませんので安心してご利用ください。



> 介護ノウハウ等の提供活動

組合員・地域の皆さまの暮らしを支えることを目的に、JAなどの介護施設の要請に応じて専門家を派遣し、職員研修を支援しています。また、JA女性組織や組合員組織の会議・研修会で、フレイル予防などの健康増進のための講習会を行っています。



交通事故被害者の社会復帰支援に向けた取り組み



> 社会復帰支援のためのリハビリテーションセンターの開設

静岡県の中伊豆と大分県の別府に交通事故などによる身体障がい者の社会復帰支援を目的としたリハビリテーションセンターを開設しています。

これら2つのリハビリテーションセンターは、「病院」「福祉施設」「介護施設」の3つの機能を持った全国でも数少ない総合型の施設です。

昭和48年の設立以来、機能回復から自立支援まで、利用者さまのニーズに合わせたリハビリテーションを通じて、交通事故被害者などの社会復帰をお手伝いしています。



社会福祉法人 農協共済
中伊豆リハビリテーションセンター



社会福祉法人 農協共済
別府リハビリテーションセンター

> 介助犬の育成・普及支援

交通事故などにより手足に障がいのある方の日常生活を介助する「介助犬」の育成・普及支援に取り組んでいます。

社会福祉法人 日本介助犬協会の事業の支援やNPO法人 日本補助犬情報センターへの研究支援、介助犬によるデモンストレーション「ガンバレ! 介助犬!」JA共済はたらくワンワンランド!を開催しています。



column

皆さまの豊かな生活づくりをサポート

組合員・利用者・地域の皆さまの健康増進を総合的にサポートする活動として「げんきなカラダプロジェクト」を、また安全・安心な暮らしをサポートする活動として「あんしんくらしプロジェクト」を展開しています。専用ホームページでは、健康増進や防災・減災に関するサービスなどの情報を紹介しています。

げんきなカラダ
プロジェクト

あんしんくらし
プロジェクト



次世代を担う子どもたちの文化支援に向けた取り組み



小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクールの開催

次世代を担う小・中学生の皆さまに、「相互扶助」と思いやりの大切さを伝えるとともに、書写教育に貢献することを目的に書道コンクールを、また、交通安全への意識を高め、幅広く社会に呼びかけることを目的に交通安全ポスターコンクールを開催しています。全国および各都道府県で開催し、令和5年度で、全国コンクールは書道67回、交通安全ポスター52回を数え、日本最大級の規模を誇ります。

サイト check!



日本リトルリーグ野球協会・日本リトルシニア中学硬式野球協会への協賛

「野球というチームプレーを通じて健全な社会性を養い、強健な身体と健全な精神の涵養に寄与すること」などを目的とし、公益財団法人日本リトルリーグ野球協会および一般財団法人日本リトルシニア中学硬式野球協会の活動に協賛しています。日々の運動を楽しむ子どもたちから国際大会をめざす子どもたちまで、小・中学生の健康で健全な心身の育成に貢献しています。



全国小・中学校リズムダンスふれあいコンクールへの協賛

全国大会という目標に向かい、クラスが一丸となって活動することで、お互いを認め合い、協力し合う心を育み、学校生活を活性化することを目的とした全国小・中学校リズムダンスふれあいコンクールの活動に協賛し、小・中学生の豊かな人間性の育成や体力の向上に貢献しています。



参加者の声

親子でちょいムズチャレンジに参加しました。子どもが失敗しても、いい点を見つけて励まし、やる気につなげてくれたので、楽しく体験ができ、とても満足です。



レインボー体操の後は全身がぼかぼかと温まって動かしやすくなり、体が軽くなりました。



「JA共済はたらくワンワンランド」で介助犬のことを教えてもらいました。介助犬は全国に59頭しかいないようですが、手足が不自由な人のために飲み物を持ってきたり、落としたものを拾ってあげたりして、なくてはならない存在だと知りました。



介護施設の職員研修のなかで、介護ノウハウの指導を受けました。第三者の視点、気づきによる助言をいただき、介護業務の改善に向けてよききっかけとなりました。技術的なことだけでなく、自宅での生活を望む利用者のために何が必要か、何を主にして考えていくかといったアドバイスもあり、とても勉強になりました。



書道コンクールに「陽光」の書を応募しました。先生のお手本をよく見て覚え、力強い太陽の光を思い浮かべて勢いよく書きました。これからは練習をがんばり、おじいちゃんやおばあちゃん、見た人を元気づけられるような作品を書いていきたいです!



交通安全ポスターコンクールで、反射材をテーマにしたポスターを描きました。夜に車に乗っていたとき、黒い服の人にすれ違う直前まで気がつかず、怖い思いをしたからです。ポスターを見た人が、反射材の大切さに気づいてくれたらうれしいです。

宝箱の中から参加者の声があふれています!



次の宝箱のありかが書かれた地図が入っていたぞ。さあ次へ出航だ!



安全・安心を実感できる地域社会づくり

防災・減災・事故防止に資する取り組みにより、安全で安心を実感できる地域社会づくりに貢献します。

災害支援に向けた取り組み



> 災害シートの無償配布*

自然災害などでお住まいが壊れてしまった方に、JAを通じて災害シートを無償で配布しています。東日本大震災、能登半島地震などでも災害シートをお配りし、災害からの復興に向けてサポートしました。
※JA共済のご契約者さまで一定の要件を満たす場合に限りです。



> 災害キットの無償配布*

自然災害などで被害を受けられた方に、JAを通じて災害キットを無償で配布しています。令和5年7月の豪雨(福岡県ほか)などでも、災害キットをお配りしました。
※JA共済のご契約者さまで一定の要件を満たす場合に限りです。



> 東北ユースオーケストラへの活動支援

東日本大震災の被災三県(岩手県・宮城県・福島県)出身の子どもたちを中心に構成された一般社団法人東北ユースオーケストラ(TYO)に協賛し、「震災からの心の復興」に向けた活動を支援しています。



防災・減災に向けた取り組み



> ザブトン教授の防災教室の開催

イス型の地震動体験装置「地震ザブトン」で過去に発生した大地震や今後想定される大地震のリアルな揺れを体験できる体験学習型プログラムです。家具の固定など日頃から地震に「備える」ことの必要性を再認識していただけるイベントを開催しています。



ぼうさいこくたい2023の様子

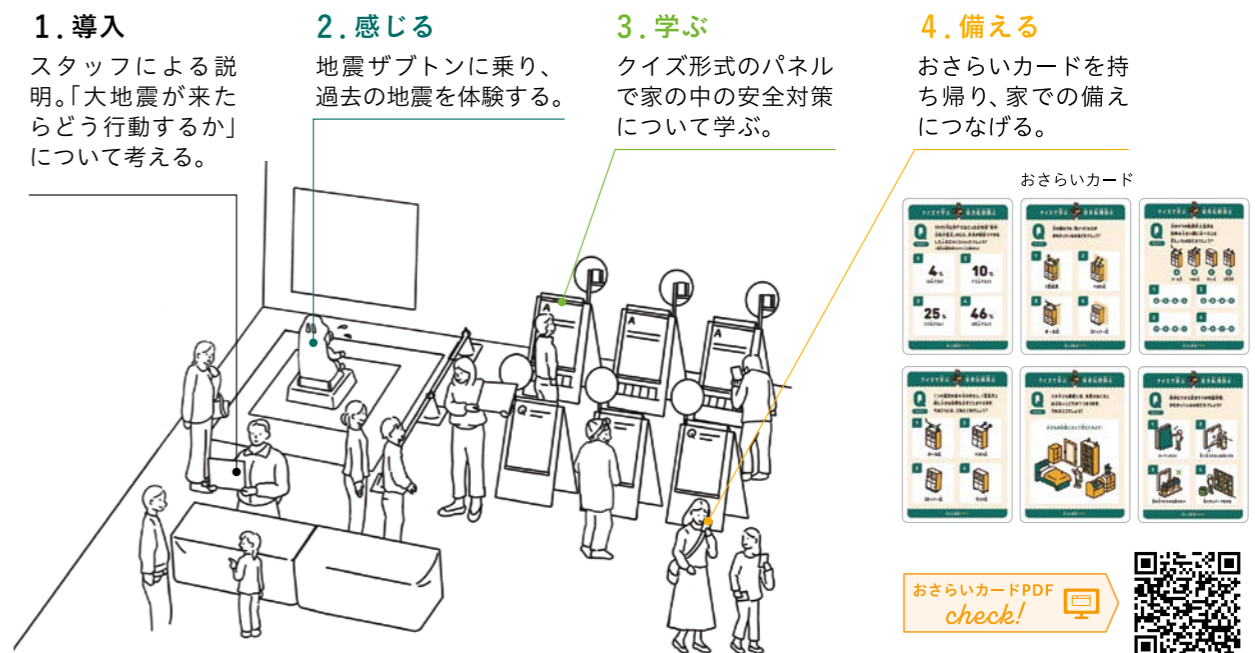


豊洲防災Festiv@l2024の様子



イラスト
©文平銀座+NPO法人プラス・アーツ

●プログラムの流れ 「感じる」こと「学ぶ」ことを通じて、「備える」行動につなげていただけるプログラムです。



column

ぼうさいこくたい2023に「ザブトン教授の防災教室」を出展

関東大震災から100年を迎えた令和5年9月に開催された「ぼうさいこくたい2023」では、プログラムに関東大震災級の揺れを追加し、多くの方に体験いただきました。体験者からは、「地震の瞬間は何もできないとわかった」「家に帰ったら、まず固定できる家具は固定しようと思う」などの感想をいただきました。令和7年1月17日で阪神・淡路大震災の発生から30年の節目を迎えます。改めて安全・安心を実感できる地域社会づくりに貢献してまいります。



2 安全・安心を実感できる地域社会づくり

JA共済の交通安全の取り組みの一部は、自賠責共済の運用益を活用して実施しています。



交通事故未然防止に向けた取り組み



幼児向け > JA共済アンパンマン交通安全キャラバンの開催

「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」が全国を巡回し、歌や踊りを通じて幼児に交通ルールを伝えます。小さなお子さまに人気のJA共済のイメージキャラクター「それいけ！アンパンマン」。アンパンマンたちと交通ルールを学び、親子で交通安全について考える時間を提供しています。



©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

生徒向け > 自転車交通安全教室の開催

中学校や高等学校への交通事故対策活動として、警察などと連携したスケアード・ストレイト教育技法による自転車交通安全教室を実施しています。生徒の前でスタントマンが交通事故を実演し、危険性を疑似体験させることで、交通安全意識を醸成しています。



column 小学校入学前の交通安全教育のために「つうがくろ あんぜんMAP」を制作

歩行中の交通事故死傷者で最も多いのは、小学校に入学して間もない7歳児です。親子で一緒に通学路の安全確認を行うことの必要性を伝えるため、通学路において「何が」「どのように」危ないのかを実際に確かめて、安全に通学するポイントを確認できる資料をホームページに公開しています。



資料は二次元コードからダウンロードできます。



ko-ken chikichiki~

シルバー世代向け > 交通安全教室の開催

高齢者の交通事故を防ぐために、「シルバー世代向け交通安全教室」を開催しています。JA共済オリジナルの「交通安全落語」を聞いて笑いながら交通安全への意識を高めていただく教室で、誰でも楽しく参加いただけます。



シルバー世代向け > 自動車安全運転診断の実施

高齢ドライバーの交通事故を防ぐために、ドライビングシミュレーターを搭載した自動車安全運転診断車「きずな号」を全国に派遣し、巡回型の安全運転診断を行っています。動体視力や判断力など運転に必要な能力を測る「運転能力診断」と、運転中の危険予測能力や運転操作、法令順守の状況を測る「安全運転診断」を体験いただけます。



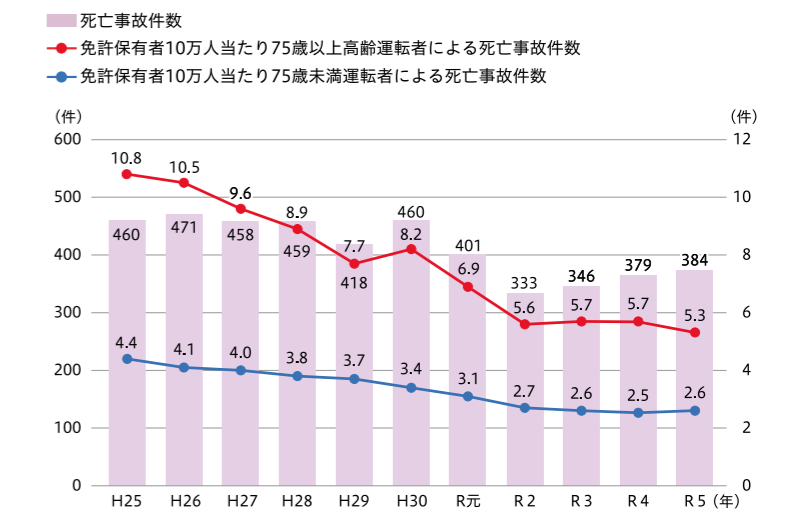
診断書イメージ



column 気をつけたい高齢ドライバーの交通死亡事故

75歳以上の高齢ドライバーによる死亡事故の件数は令和5年度で384件。近年増加傾向にあり、免許人口当たりで比較すると75歳未満に比べて約2倍の発生件数となっています。事故原因として、75歳以上はブレーキとアクセルの踏み間違い、ハンドルの操作誤りなどの割合が大きいのが特徴です。年齢とともに判断力や反射機能が低下することを心に留め、慎重な運転操作を心がけることが大切です。JA共済は、動画コンテンツや冊子を制作し、安全運転の啓発活動に取り組んでいます。

75歳以上高齢運転者による死亡事故件数の推移



(注)・第1当事者が原付以上の件数である。・運転者の年齢が16歳以上の事故について集計した。・算出に用いた免許保有者は、各年12月末の値である。参考：警察庁ホームページ

2 安全・安心を実感できる地域社会づくり

J A 共済の交通安全の取り組みの一部は、自賠責共済の運用益を活用して実施しています。

交通事故未然防止に向けた取り組み



全世代向け > ドライバーからの服装“見えやすさ”診断の実施

交通死亡事故が1日のなかで最も多く発生する薄暮時間帯・夜間の「自動車対歩行者」の交通事故削減に向けて、体験者自身の姿がドライバーからどのように見えるのかを実感いただける服装“見えやすさ”診断「見えチェック」を開催しています。また、ホームページでは反射材アイテムや明るい服装のコーディネートなどを紹介しています。

サイト check!



全世代向け > 自転車安全運転診断の実施

自転車シミュレーターを搭載した自転車安全運転診断車「すまいる号」を全国に派遣し、巡回型の自転車の安全運転診断を行っています。約5分程度の体験で自転車乗用中の交通ルールや危険予測を実践的に学習いただけます。



column

自転車に乗るときは、命を守るヘルメットを！

改正道路交通法の施行により、令和5年4月1日からすべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されました。JA共済連は、ヘルメットの必要性を伝えるために、着用の有効性を検証する実験映像や世代別オリジナルムービーを制作し、ヘルメット着用の大切さを地域社会に呼びかけています。

サイト check!



● 世代別オリジナルムービー



高齢者篇
(約13分)



大人篇
(約13分)



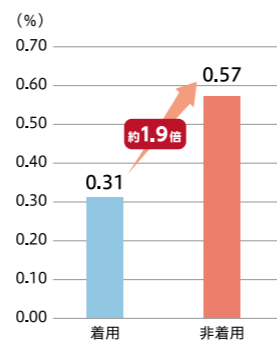
中高生篇
(約9分)



小学生篇
(約11分)

● 自転車乗用中のヘルメット着用状況別の致死率

※令和元年～令和5年合計



参考：警察庁ホームページ

参加者の声

🏠 ザブトン教授の防災教室

で地震を疑似体験しました。参加してさらに防災意識が高まりました。見落としや忘れていたことがないか、もう一度確認したいと思います。



🚗 自動車安全運転診断車「きずな号」

を体験しました。見ているようで見ていない「確認」や、自分の運転の「欠点」を意識することができました。安全運転を心がけたいです。



🚗 自転車交通安全教室

に参加しました。自転車同士がぶつかったときの衝撃が大きくて驚きました。ヘルメットは大事ですね。自転車も車と同じで危険な乗り物だと再認識しました。



🚗 服装“見えやすさ”診断

「見えチェック」で反射材の効果を実感しました。また、運転時は「ライトをつけているから大丈夫だろう」という過信を改め、夜間の歩行者は見えにくいという意識を持つことが大事だと感じました。

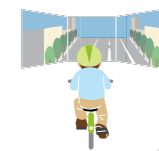
🚗 交通安全落語

を聞き、声を出して笑いました。楽しい気持ちになりました！改めて交通事故に注意しようと思います。

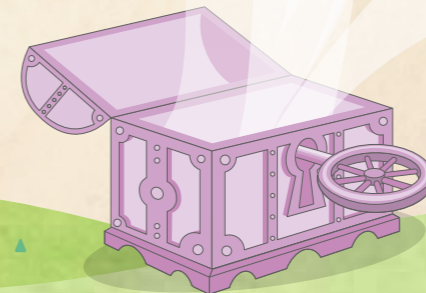


🚗 自転車安全運転診断車「すまいる号」

に乗ってみました。自転車の運転を見直すことはあまりないので、体験できてよかったです。



参加された皆さまの声は僕たちにとってもためになりますね。



僕もよく自転車に乗るので安全運転に気をつけます！



持続可能な農業への貢献

農業振興・農業者所得増大・農業リスク軽減に資する取り組みにより、持続可能な農業に貢献します。

農作業事故未然防止に向けた取り組み



農作業事故体験VR※を活用した学習プログラムの展開

※VR:バーチャル・リアリティー

農作業事故の未然防止を目的に、当事者の視点から農作業中の事故を疑似体験できる「農作業事故体験VR」を活用した学習プログラムを、全国のJAにおける研修会やイベント、農業関連団体による講習会などで展開しています。

合計8種類の特に気をつけていただきたい農作業事故のVR動画を提供しています。

サイト check!



農業高校での農作業事故未然防止に向けたVR体験の様子

VR映像コンテンツ



農作業事故を防ぐため 農研機構と映像を共同制作

全国で農作業事故が多発するなか、大切な農業従事者の命と経営を守るため、事故対策は喫緊の課題です。JA共済連と農研機構は、お互いの知見をいかして「農作業事故防止」に特化したVR映像コンテンツを共同で制作し、事故を未然に防ぐための啓発活動を推進しています。

memo

農作業事故を“自分ごと化”できる取り組みとしてグッドデザイン賞を受賞

“農作業事故を自分ごと化できるVR”というコンセプトが事故未然防止に有用であるという高い評価を受け、公益財団法人 日本デザイン振興会が運営する「2020年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

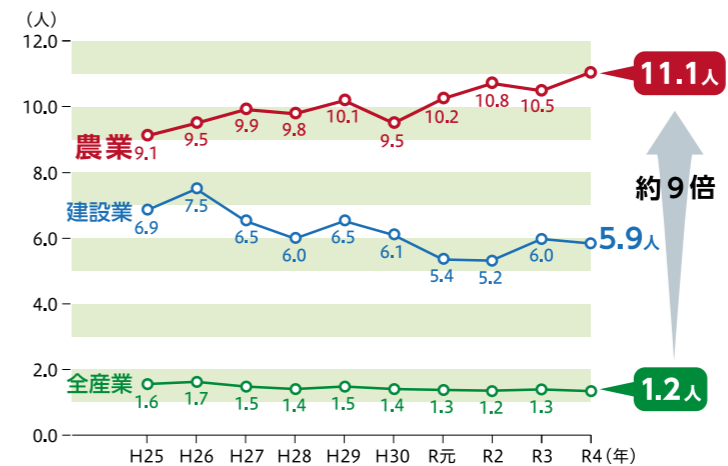


column

いつまでも安心して農業に取り組むために

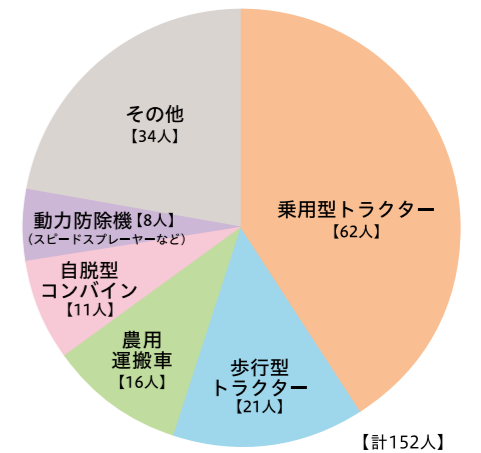
農作業事故の発生件数は年間約6万4,000件、1日に約180件もの事故が発生していると推計されています※1。また、農林水産省のデータによると、令和4年は農作業事故で238人もの尊い命が失われました。乗用型トラクターなど農業機械での事故が最も多く、全体の6割以上を占めます。ほかの産業と比較しても、就業者10万人当たりの死者数は全産業平均の約9倍にのぼり、建設業と比べても約2倍と、安全対策の強化が大きな課題となっています。「使いなれた機械だから」と過信せず、一人一人が意識して正しい知識と対策を身につけることが大切です。

●就業者10万人当たりの死者数の推移※2



●農業機械作業に係る死亡事故発生状況

※令和4年1～12月



参考:農林水産省ホームページ

※1 JA共済連による推計
 ※2 死者数:農作業死亡事故調査(農林水産省)、死亡災害報告(厚生労働省)
 就業者:農林業センサス、農業構造動態調査(農林水産省)、労働力調査(総務省)

農作業事故を未然に防ぐため、共済金支払データに基づいたサイトを公開

事故を未然に防ぐためには、適正な知識や対策情報にふれていただくことが大切です。そこで、平成29年から令和2年までの共済金支払データ2万1,634件を用いて、農作業事故の発生要因や事故傾向について分析し、農作業に安全に取り組んでいただくための情報を発信する特設サイト「FARMERS 1st(ファーマーズファースト)」を公開しました。日々の農作業における行動パターンのチェックや農作業安全クイズ、農作業事故体験VRの活用方法のご案内、研修資料などがあり、多くの皆さまにご活用いただけるサイトです。

農作業事故を防ぐためには正しい知識が必要なんですね。

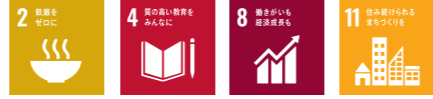
日頃の行動パターンに隠れたリスクを確認すると安全意識が高まりますね!



サイト check!



県域における農業の活性化に向けた取り組み



農作業効率化の支援

農作業の軽労化・効率化支援を目的に、ドローンなどの先進機器等を寄贈しています。農作業時の負担軽減や、作業時間の短縮を図ることで、農業者の所得増大・農業生産の拡大に貢献しています。



農業高校等への支援

農業の担い手育成支援を目的に、農業高校や農業大学校等に対し実習用の農業機械・機具などを寄贈しています。学習環境の整備を図ることで、将来の農業後継者の人材育成に貢献しています。



地域産品の生産拡大の支援

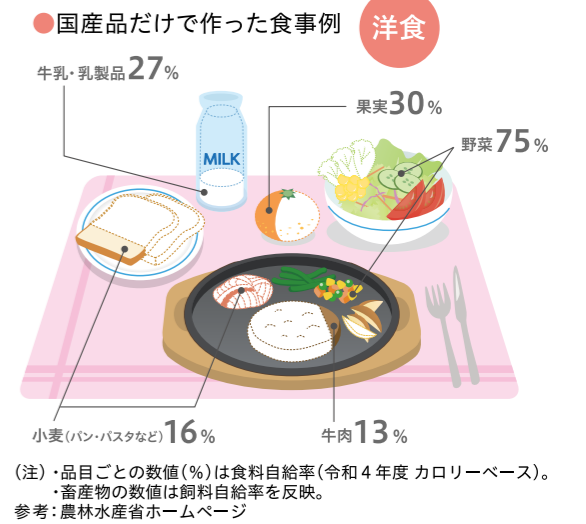
地域農業の活性化を目的に、地域の特性をいかした地域産品の生産振興の取り組みを支援しています。農業者の所得増大や新たな担い手の参入に向けた取り組みを通じて、地域農業の活性化に貢献しています。



column

国産の農畜産物を食べることで農業を応援しよう！

日本の食料自給率は38%（令和4年度 カロリーベース）で、国内で消費する食の大部分を輸入に頼っているのが現状です。自然災害や輸入元の不作などによって輸入ができなくなると、必要な食料が足りなくなる懸念があります。しかし、食料は不足したからといって、すぐに代替のものを作れるわけではありません。消費者にできることは、農地や農業従事者をはじめ生産基盤が維持されるよう国内農業を後押ししていくことです。普段から国産の農畜産物を食べて・飲んで、消費拡大を支援していきましょう。



column

日本の食と農を応援する取り組み

JA 共済連は、こども食堂への食材提供、農業従事者への各種支援、次世代の担い手となる農業高校や農業大学校等への支援、ツアーや地域の媒体を通じた地元の農畜産物のPRなど、日本の食と農を応援するためのさまざまな活動を展開しています。JA 共済ビル(東京都千代田区)でも、全国から仕入れた旬の農畜産物を販売する「JA 共済マルシェ」の開催を通じて「国消国産」を応援しています。また、障がい者等が農業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく「農福連携」にも力を入れています。



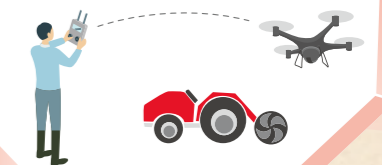
JA共済マルシェの様子

参加者の声

「農作業事故体験VR」を活用した研修会に参加しました。安全第一ということは理解していますが、これまでは効率の面から軽視することもありました。しかし安全性を意識することで効率化にもつながると教わり、とても勉強になりました。



実習用の農業機械を寄贈していただきました。農業機械の正しい使い方を学び、安全な農作業を心がけていきたいと思っております。



地球環境への貢献

温暖化防止や環境保護に資する取り組みにより、気候変動に代表される地球環境問題の解決に貢献します。

フード・マイレージ低減に向けた「地産地消」支援の取り組み



JA 共済プレゼント それいけ!アンパンマンミニショー&握手会の開催

「JA共済プレゼント それいけ!アンパンマンミニショー&握手会」では、一部のコーナーで食育をテーマとしたJA共済オリジナル絵本の配布や地域の特産品の展示を行い、ミニショーへ来場いただいた親子に、楽しみながら地域の「食」と「農業」について考えるきっかけを提供しています。



©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV



県域における食育イベント・農業体験の開催支援

健全な食生活を実現するために、地域の農産物などを用いた食農教育活動に取り組んでいます。農業体験学習や親子料理教室は、小学校と連携した取り組みも多く、多様な組織と連携して実施することから、地域とのつながり強化にも貢献しています。



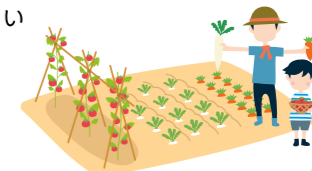
参加者の声

野菜づくり講習会に参加しました。食べ物は生きていくうえでの基本です。息子とともに野菜を育てる体験をしたことで、農業をより身近に感じられるようになりました。



さつまいもの栽培教室で、植えつけから収穫を体験しました。土にふれて楽しかったです。

JAの食育イベントに参加しました。トマトなどを自宅で育てる体験も楽しいですね。「花が咲いた」「実が付いた」と、子どもと一緒に毎日観察しています。子どもにも野菜に興味を持ってもらい、おいしく味わってほしいと思います。

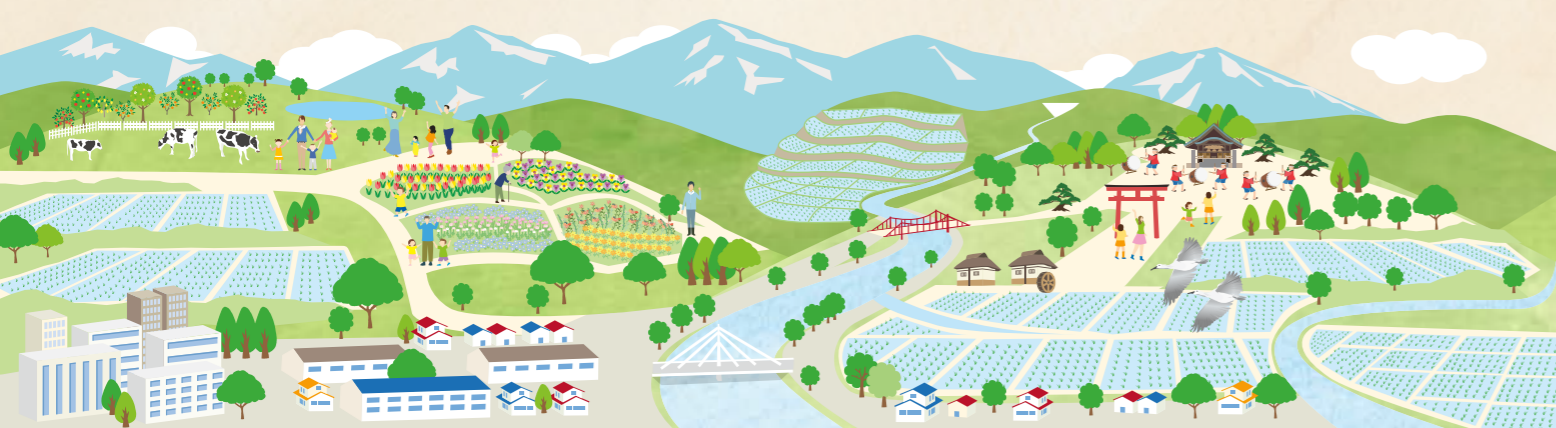
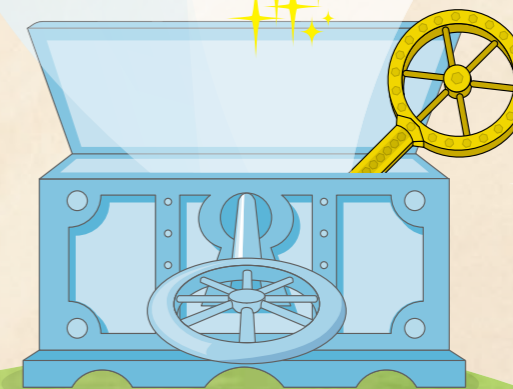


「それいけ!アンパンマンミニショー&握手会」に参加しました。子どもが喜んでいたので嬉しかったのですが、展示されていた特産品のことも知らなかったのが自分にとっても新しい発見がありました。

4つ目の宝箱からカギを発見! このカギで開く最後の宝箱がどこにあるらしいよ!



よーし! 宝箱を開けるカギを完成させるために日本全国を巡っていきましょう!



5 地域の実情に応じたさまざまな地域貢献活動

安全・安心な地域社会の実現や皆さまの生活をより豊かにするために、全国各地で地域の実情に応じたさまざまな活動に取り組んでいます。ここでは、その一部を紹介합니다。

各都道府県の **県の石** も紹介しています。

一般社団法人 日本地質学会のホームページ等を参考に、JA共済連で作成しています。



ここからは地域に寄り添ったさまざまな地域貢献活動を見ていきましょう。日本各地の石のかけりも集めていきますよ。



北海道・東北エリア

- 北海道
- 宮城県
- 山形県
- 青森県
- 秋田県
- 福島県
- 岩手県



1 北海道

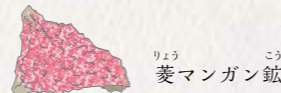


災害時の備えのためスマートエマージェンシーボトルを配布

いつ、どこで起こるかわからない災害に備えて「スマートエマージェンシーボトル」5万個をJAを通じて地域の皆さまと組合員に配布しました。平成30年北海道胆振東部地震を受け、過去4年間に「非常用給水タンク」「防災用簡易ライト」「救急セット」「非常持出袋」を配布。今年はウォーターボトルの中にカラビナキーホルダー、アルミブランケット、ホイッスル、LEDハンディライトが入った防災グッズで、地域の防災対策に役立つことを願っています。



2 青森県

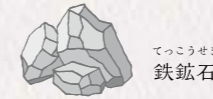


地域の皆さまの健康づくりのためヘルスアップ講座を開催

地域の皆さまと組合員の健康づくりのため「JA共済ヘルスアップ講座」を開催しました。医師による講演やヘルスチェックを通じて健康管理への意識を高めていただき、昼食には「JA健康寿命100歳弁当」を召し上がっていただきました。また、笑いが健康に与える効果に着目しプログラムに「落語」を取り入れ、元気に笑っていただきました。医師の講演、落語はともに好評で「医師の講演がとても参考になった」「たくさん笑った」など好意的な声をいただきました。



3 岩手県

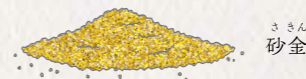


担い手育成のため農業関連高校へ実践教育用農業機械等を寄贈

農業を学ぶ環境を充実させるため、県内の5つの農業関連高校へ実習で使う農業機械などを寄贈しました。農業機械の新規購入が難しい教育現場への寄贈は、担い手として学んでいる学生の皆さまの意欲向上につながり、特に授業の中でふれる機会がないスマート農業用機材は、「授業の中で実際に活用できる」と喜ばれました。



4 宮城県



子どもたちの健全な成長を支援するため少年野球大会を開催

地域の子どもの健全な成長と地域の交流・絆づくりのため「第14回 JA共済少年野球宮城県大会」を開催しました。当日は、県内各JAの野球大会で県大会出場権を得た14チーム258人の選手が集結し、熱戦を繰り広げました。表彰式では優勝・準優勝チームにメダルが授与され、選手たちは誇らしげな様子で受け取っていました。今後も地域の未来を支える子どもたちの夢を応援するため地域と密接に連携し、この大会を継続して開催してまいります。



5 秋田県

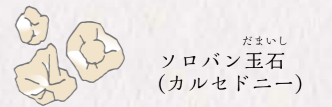


学童の健全な成長を応援するため学童野球大会を開催

野球を通じて学童の健全なスポーツ精神を育成するため、県内13JAと共同で「第21回 JA共済学童野球大会」を開催しました。当日は予選を勝ち抜いた12チーム235人が優勝をかけてチーム一丸となり、熱戦を繰り広げました。予選から決勝までの様子は地元テレビで特番として放送され、応援に来た家族からも声援が多く飛び交いました。県内でこの大会の存在は大きく、一つの目標として取り組むチームが多くなっているため、今後も継続的に大会を開催してまいります。



6 山形県

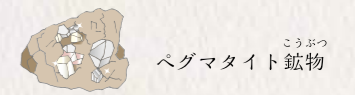


若い世代の夢と成長を応援するためバレーボール大会に特別協賛

若い世代の夢と成長を応援するため「第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会山形県代表決定戦」に特別協賛しました。本大会は通称「春の高校バレー」と呼ばれる、全日本バレーボール高等学校選手権大会への出場権をかけた大会です。第76回となる2023年大会は、男女各16校が出場しました。選手の皆さまが大きな夢を持ち、世界の舞台上で活躍する日が来ることを期待し、今後もスポーツ大会などへの協賛を通じて、若い世代の成長を見守ってまいります。



7 福島県



未就学児を災害から守るため楽しく学べる防災教室を開催

地震などの災害発生時に園児が教職員や保護者の指示に落ち着いて従い、すばやく安全に行動ができるよう、県内の認定こども園・幼稚園などで未就学児向け防災教室「ふくしま防災アクション」を開催しました。当日は地元消防署員による防災についての紙芝居や、JA共済連福島オリジナルヒーロー「防災戦隊ポウサイザー」によるステージショーを行いました。初めは緊張していた園児たちも身体を動かしながら防災の知識を学ぶ「ポウサイダンス」により笑顔で楽しく学ぶことができました。



地域を支えるさまざまな取り組みがあるんですね。



関東エリア

- 茨城県
- 千葉県
- 栃木県
- 東京都
- 群馬県
- 神奈川県
- 埼玉県



8 茨城県



交通事故を未然に防ぐため 新入学児童へ交通安全帽子を寄贈

小学生を交通事故から守るため、新入学児童向けに黄色い交通安全帽子を2万3,000個寄贈しました。この取り組みは本年度で48回目を迎え、現在までに約168万人を超える子どもたちの安全を守ってきました。寄贈先の先生からは、「子どもたちが安全・安心に登下校するのに助かっている」「とても目立つ帽子なので周りの方からも注意していただける」などの声をいただいています。



9 栃木県

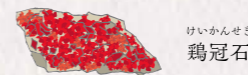


県生誕150年記念を盛り上げるため 「いちご王国」プロモーションに協賛

「栃木県生誕150年記念」を盛り上げるため、「いちご王国・栃木」のプロモーションに協賛しました。これは、1年間限定で東武宇都宮線の愛称を「いちご王国」ラインとし、各駅の駅名看板を「いちご王国」仕様に変更するとともに、車内外にいちごの装飾をした列車を運行するものです。東武宇都宮駅で行われた出発式では、知事やJA関係者によるテープカットの後、電車が出発しました。多くの方に栃木県のいちごの魅力を知らせていただききっかけとなりました。



10 群馬県

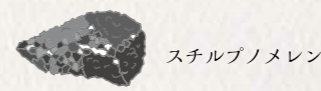


子どもたちの健やかな成長のため 学用品購入費用などを寄付

子どもたちの健全な成長と豊かな情緒や社会性を育む環境づくりのため、県内の児童養護施設8か所、乳児院3か所、児童館65か所へ学用品や生活用品、図書などの購入に活用いただくために寄付をしました。各施設の協議会関係者ご参集のもと開催した寄贈式では、子どもたちの写真や、子どもたちからのお礼の言葉が添えられた購入品の紹介などの報告を受けました。



11 埼玉県



地域の皆さまとのつながり強化のため サッカー交流大会を開催

これからの将来を担う次世代層と地域の皆さまとのつながりを強化するため、県内の小学3年生以下の児童を対象としたサッカー大会「第7回JA共済カップSAITAMA U-9サッカー交流大会」を開催しました。当日は16チームで予選リーグを行った後、トーナメント戦で順位を決定しました。参加チームからは、「子どもたちが成長する機会として大切な場となる」「大会があることで子どもたちの目標やモチベーションアップにつながる」などの声をいただきました。



12 千葉県

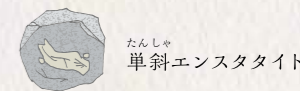


選手たちの健全な成長と親睦のため 少年野球女子大会に協賛

選手たちの健全な成長と相互の親睦のため「第10回千葉県少年野球女子大会」に協賛しました。各地域の11チームが激戦を繰り広げ、KGS(柏女子選抜チーム)が優勝しました。各チームとも応援が響き合い、選手たちの顔には笑顔があふれていました。参加者からは「仲間との絆を深めるよいきっかけになった」という声が多く上がりました。本大会を通じて、心身ともにたくましく成長されることに期待し、これからもこの活動を支援していきます。



13 東京都



子どもたちの健全な成長のため 5年生サッカー大会に協賛

サッカーの発展と子どもたちの健全な成長のため、平成22年より「JA東京カップ東京都5年生サッカー大会」に協賛しています。35回目を迎えた本大会では、予選を突破した上位48チームが熱い戦いを繰り広げ、日頃の練習の成果を発揮しました。選手たちは試合を通じて、多くの仲間との親睦を深めていました。「同年代の他チームメンバーとの交流を持つことができ、友情が育まれた」などの声をいただきました。



14 神奈川県



地産地消PRのため県農業の 魅力を伝えるラッピングバスを運行

農業を身近に感じていただき地産地消の取り組みを進めるため、ラッピングバスを使ったPR活動を行いました。JA共済オリジナルキャラクター「ひとのわぐま」がラッピングされたバスは、「かわいい」「目を引く」などの声をいただいています。県内12JAの本所(店)周りで運行し、バスを目にするだけで県内の農業・農産物を知らない方にも興味を持っていただいています。



石のかけらをカギにはめ込んでいけばいいんですね。

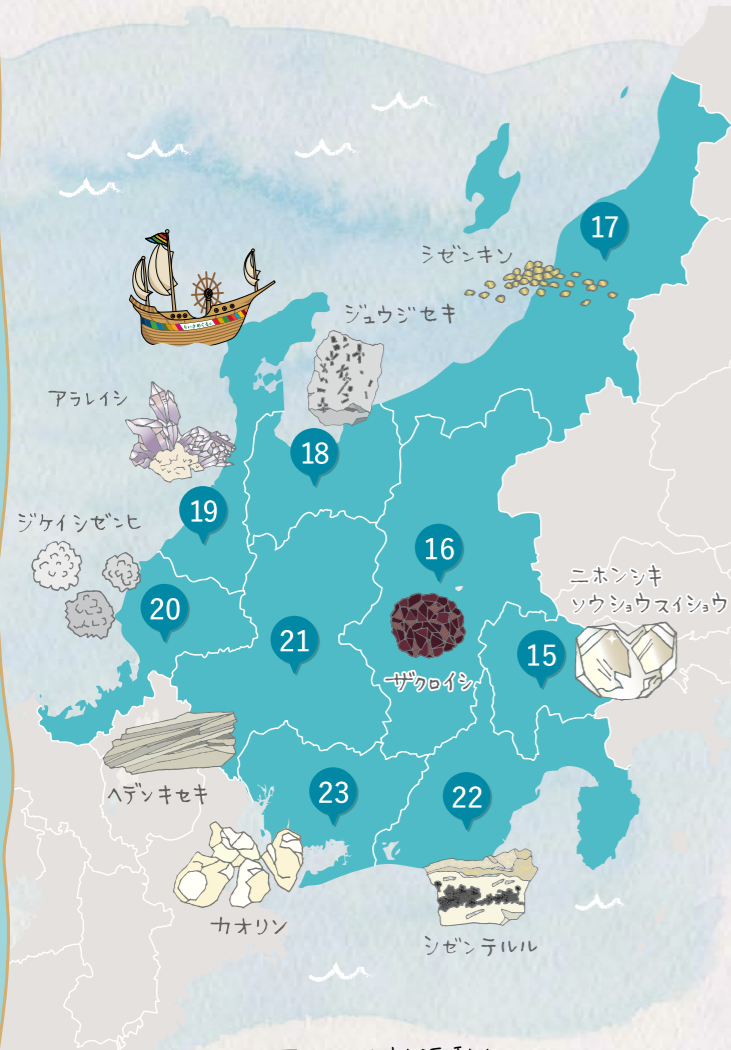


各地の取り組みにはさまざまな工夫がありますね。



中部エリア

- 山梨県 ● 富山県 ● 岐阜県
- 長野県 ● 石川県 ● 静岡県
- 新潟県 ● 福井県 ● 愛知県



石のかけらも活動も
キラキラと輝いています！



15 山梨県



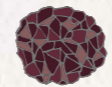
にほんしきそうしゆすいしゆ
日本式双晶水

子育て世代応援のため 家族参加型イベントに協賛

子育て世代の応援と、子どもたちの「好奇心」や「想像性」を育み、「想像力」と「創造力」を発揮できる地域づくりに貢献するため、地元テレビ局などが共催する家族参加型イベント「やまなしこどもの城フェスタ2023」に協賛しました。当日は子どもたちに「アンパンマンふわふわ」を体験いただいたほか、会場では子育て相談や情報提供を行い、前年度を超える多くの子育て世代にご来場いただきました。



16 長野県



いし
ざくろ石

農産物を盗難から守るため 盗難防止対策パトロールを強化

「農産物盗難防止対策パトロール強化中」と記載されたマグネットステッカーを生産者や青年部に配布し、農産物盗難防止の見回りを行う際に車両などに貼り付けることで、農産物の盗難を未然に防ぐ啓発活動を行いました。「盗難被害が多い中、要望に応じてもらい助かった」「農産物盗難防止の見回りを行う際にステッカーを利用することができた」との声をいただきました。



17 新潟県



しぜんきん
自然金

一人親家庭の生活を支援するため 「クリスマス寄贈式」を開催

社会的・経済的に困難な状況にある一人親家庭を支援するため、毎月県内のJA直売所を通じて、玄米30kgを約16袋、ダンボール20箱分の農畜産物・インスタント食品などを県フードバンク連絡協議会へ寄贈しています。12月はクリスマスということで、新潟米菓や農福連携のコーヒーギフトを準備しました。また職員から子ども向けのおもちゃや洋服、日用品などの寄付を募り、併せて寄贈しました。食を通して豊かで安心して暮らすことができる地域社会に貢献するため、今後も継続して取り組んでまいります。



18 富山県



じゆしせき
十字石

地域の防災力を向上させるため 防災意識啓発グッズを寄贈

地域の防災力を向上させるため、防災士の養成研修や防災教室などで活用されているAEDトレーニングセットと「ふるさと富山風水害防災ハンドブック」を県に寄贈しました。近年、自然災害が多いため平成30年度より災害用備蓄品、防災啓発資材などを寄贈しています。令和6年1月に能登半島地震が発生し、防災に対する意識がますます高まっており、今後も継続的に防災に向けた取り組みを行ってまいります。



19 石川県



あらいし
霰石

地域の皆さまとの絆を深めるため リレーマラソンに協賛

地域の皆さまとの絆を深めるため、北陸朝日放送が主催する「JA共済Presents つばた森林浴リレーマラソン」に特別協賛しました。このマラソンは、1周約400mの特設コースを1チーム4~20人でタスキをつなぎ、4時間での周回数を競うものです。当日は天候に恵まれ、参加者からは、「チームのメンバーとの絆が深まった」「楽しかった。来年も参加したい」との声が多数寄せられました。



20 福井県



しけいしぜんひ
自形自然砒

地域の皆さまの健康増進のため 「登山キャンペーン」に協賛

地域の皆さまの健康増進のため、県内のおすすめ登山スポット20選の中から登りたい山に挑戦していただき、登った山の数に合わせてプレゼント応募ができるデジタルスタンプラリーに協賛しました。10月中旬には登山体験と講習会を開催し、山岳連盟の方と一緒に登山しながら、登山・下山時の注意点、地図の見方、コンパスの使い方などを講習していただきました。参加者からは、「登山が趣味になった」「楽しい」「来年も継続してほしい」などの声をいただき好評でした。



21 岐阜県



きせき
へデン輝石

子育て世代を応援するため オリジナル母子手帳ケースを配付

妊婦の方やこれから子育てを始める方をサポートするため、母子手帳を受け取るすべての方へ「オリジナル母子手帳ケース」を配付しています。母子手帳ケースの中には、子育て支援SNS「JA共済こそだてひろば(岐阜県)」や「JA共済アンパンマンこどもくらぶ」など、子育て支援情報の配信サイトを紹介したカードが入っています。毎年実施している中で、各市町村からは感謝の言葉と「毎年心待ちにしている」という声をいただいています。



22 静岡県



しぜん
自然テレル

子育て支援と地域交流のため 「シズオカンキッズ応援隊」に協賛

「豊かな心と体を育てる」をコンセプトに、子育て支援と地域の皆さまとの交流を図るため、地元テレビ局主催のイベント「シズオカンキッズ応援隊」に特別協賛しました。ステージショーや趣旨に賛同いただいた団体・企業の出展など、さまざまな企画で親子そろって楽しめる空間を提供しました。県本部では「ちょいムズチャレンジ」を開催。多くの参加者から「楽しかった」との声をいただき、親子で体を動かす楽しさを体感していただきました。



23 愛知県



カオリン

地元農業活性化のため 産直・特産品をテレビ番組で紹介

地元農業活性化のため、農業全般について学べるテレビ番組を制作・放送しました。生産者の声や収穫体験、調理方法や産直施設紹介などを通じて地元農業の魅力を紹介しています。取材先のJAからは「放送後はテレビで紹介された農産物が品切れになった」「初めて知った野菜を購入したいと、産直施設に野菜や苗を求めて来店された方もいた」との声がありました。今後も多くの視聴者へ農業の魅力・大切さを伝えてまいります。

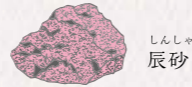


近畿エリア

- 三重県
- 滋賀県
- 京都府
- 大阪府
- 兵庫県
- 奈良県
- 和歌山県



24 三重県



子どもたちの健全な心身を育成するためサッカー大会を開催

子どもたちの健全な育成と県内のサッカー競技普及のため、小学3～5年生を対象にしたサッカー大会「JA共済カップ三重県少年サッカー大会(U-11)2023」を開催しました。この大会は、次世代を担う子どもたちにゲームの楽しさを体験してもらい、サッカーを通じて身体を鍛え、フェアプレーの精神を養い、正しく強くそして想像力豊かで健全な心身を育んでもらうために実施しています。大会は3日間にわたって開催され、選手たちは精一杯のプレーを繰り広げました。



25 滋賀県

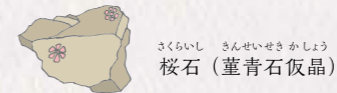


子どもたちの育成支援のため「滋賀レイクス」の学校訪問に協賛

子どもたちの健全な心身の育成と県内のバスケットボール普及のため、プロバスケットボールチーム「滋賀レイクス」の学校訪問に協賛しています。訪問当日は選手の実演や指導、ゲームなどで楽しく競技を学びました。また選手やコーチが「夢を持つこと」をテーマにお話しされ、生徒たちは目を輝かせて聞き入っていました。参加した学校からは「子どもたちの憧れる大人が増えた」「バスケットボールに興味を持った」などの感想をいただきました。



26 京都府



地産地消・地元特産品PRのため初心者向けの料理教室を開催

初心者でも簡単な料理を作れるように男性限定の料理教室を開催しました。包丁などの道具の持ち方から食材の栄養や保存方法、旬の話などさまざまなことを学んでいただき、食材は直売所の地場野菜やご当地特産物を使用し、地産地消の意識も醸成しました。「組合員間の交流が深まり、また参加者のスキルアップと特産野菜への理解が深まった」「男性組合員のみ集まる場がこれまででなく、あらたな“集う場”として交流が深まった」などの声をいただきました。



27 大阪府



子どもたちを交通事故から守るため「KIDS SAFETY PROJECT」に協賛

子どもたちの交通事故を未然に防ぐため、FM大阪が実施している「KIDS SAFETY PROJECT」に協賛しました。大阪府、府警察本部監修のもと、交通事故を防ぐための啓発ブックを制作し、夏休み前の7月に大阪府内の小学4年生(国公立・私立・義務教育学校・特別支援学校の約6万9,000人)を対象に各教育委員会の協力を得て寄贈しました。またFM大阪で特別番組を放送し、子どもたちの交通事故を未然に防ぐ啓発活動を実施しました。



28 兵庫県

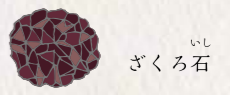


阪神・淡路大震災から29年兵庫県に117万円を寄付

「1月17日を忘れない、あの日の教訓を風化させない」という想いから、県に防災・減災の普及啓発動画の作成費用117万円を寄付しました。贈呈式ではJA共済連兵庫運営委員会会長が県の防災監に目録を手渡し「多発する自然災害に役立ててほしい」と贈呈の想いを伝えました。防災監からは「自然災害発生時に高齢者などの避難困難者の避難がスムーズに行われるように、個別避難計画の策定を進めてまいります」との言葉をいただき、知事からの感謝状が贈られました。



29 奈良県

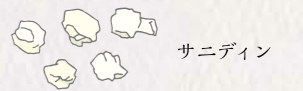


子どもたちの健全な育成のため学童親善野球大会に協賛

学童の健全な育成と地域の皆さまとのつながりを強化するため、小学5年生以下を対象にした「JA共済杯第20回やまのべ学童親善野球大会」に協賛しました。7回目の協賛となる本大会は40チームが参加し、トーナメント1回戦から白熱した試合が繰り広げられました。優勝・準優勝・3位のチームへは記念品としてバットスタンドなどを進呈し大変喜んでいただきました。また、県軟式野球連盟からは、大会運営への支援について感謝の言葉をいただきました。



30 和歌山県



書道文化継承のため和歌浦天満宮奉納書初席上揮毫及展覧会を後援

子どもたちの書道の上達を願うとともに書道文化を継承するため、平成24年度より和歌浦天満宮奉納書初席上揮毫及展覧会(和歌浦天満宮内で揮毫、その作品を奉納し書道の上達を祈る行事)を後援しています。令和6年は和歌浦天満宮の神楽殿で開催され、参加者は新春にちなんだ文字(「お正月」「世界の平和」など)を力強く書き上げました。表彰式では「JA共済賞」として「賞状」「楯」「梅干し」を贈呈し、参加賞としてボールペンを進呈しました。



これは“桜石”かな。確認をお願いします。



日本にこんなたくさんの種類の石があるなんて初めて知りました。



中国・四国エリア

- 鳥取県
- 広島県
- 香川県
- 島根県
- 山口県
- 愛媛県
- 岡山県
- 徳島県
- 高知県

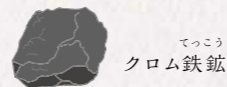


いよいよ旅も終盤。

何かここにありそうですね。



31 鳥取県



子育て世代応援のため「JA共済オリジナルおしりふき」を進呈

子育て世代とのつながりを強化するため、県内各市町村を通じて新生児訪問時や母子手帳交付時にお渡しいただけるように「JA共済オリジナルおしりふき(ケース付き)」4,000個を進呈しました。子育て中のママからは「新生児訪問時におしりふきをいただき、実用的で大変ありがたかった。今でもおしりふきケースを愛用しています」と感謝の言葉をいただきました。これからも子育て世代とのつながりを通じ安心して暮らせる地域社会づくりに取り組んでいきます。



34 広島県



子育て世代への支援のためテレビ番組とのコラボイベントを開催

子育て世代への支援のため、家族で楽しめる交流&体験型イベント「JA共済 presents すくすく夢フェスタ withひろしま満点ママ!!」を、テレビ新広島の情報番組「ひろしま満点ママ!!」とのコラボで開催しました。キッズヨガやハイハイレース、それいけ!アンパンマン ショー、チェキ撮影など多くのプログラムで会場は大いに賑わい、その様子は番組で生中継されました。体験型のブースを中心に来場者に非常に喜んでいただきました。



37 香川県



子どもたちの創造力を育むため「芸術士派遣事業」を支援

子どもたちの豊かな感性や創造力を育むため、地域の保育所・幼稚園などへ芸術士(絵画・彫刻・デザインなどさまざまな分野で活躍する作家)を派遣する事業を支援しています。芸術士による絵の具遊びの体験では、初めは少し緊張していた子どもたちも最後の方は体も顔も絵の具まみれになって楽しんでいました。先生からは「こういうダイナミックな遊びをしたいと思っているが、なかなかできないのでとてもよかったです」との声をいただきました。



32 島根県



県内の交通事故を防ぐため県警察本部へ反射材を寄贈

交通事故を未然に防ぐため、県警察本部へ交通安全反射タスキ1万本、交通安全キャッチバンド1万本、パトカーリフレクター6,500個を寄贈しました。県本部長から県警察本部長へ反射材の趣意書と目録を寄贈した後、県警察本部から反射材の推進隊であるキラリ推進隊の任命を受けました。反射材は、老若男女着用できるため、多くの方に配布し交通事故の防止につながるように活用したいとの反響がありました。

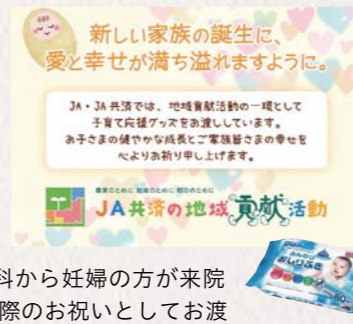


35 山口県



子育て支援のため妊婦の方へ子育て支援グッズを寄贈

地域の皆さまに安心して子育てに取り組んでいただくため、県内28の分娩取扱医療機関へ「おしりふきセット」合計8,000セットを寄贈しました。「おしりふきセット」は寄贈先の産婦人科から妊婦の方が来院された際や出産された際のお祝いとしてお渡しいただいています。寄贈先の医療機関の皆さまからは、「子育てに役立つグッズをいただき、受け取られた方は本当に喜ばれています」との声をいただきました。



38 愛媛県

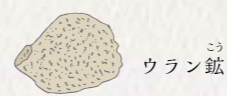


子育て環境の充実のため県と連携協定を締結

安心して子どもを生み育てられる環境づくりを進めるため、令和5年7月に県と「子育て支援分野に関する連携協定」を締結しました。令和5年度は「えひめこどもの城コシロ・アドベンチャーの利用支援」や「子どもの愛顔応援ファンド活用事業」として「ちょいムズチャレンジ」、児童養護施設での「ライフマナー研修」などを実施。これからも子育て支援を充実させ地域に密着した貢献活動を続けてまいります。



33 岡山県



特殊詐欺から高齢者を守るため「防犯対策電話録音機」100台を寄贈

特殊詐欺や悪質商法などの被害を未然に防ぐため、「防犯対策電話録音機」100台を公益社団法人岡山県防犯協会へ寄贈しました。この電話録音機は犯人からの電話に警告メッセージで対応するため、自分の声を録音されることを嫌がる犯人が電話を切り、詐欺被害を未然に防ぎます。寄贈式では、JA共済連岡山運営委員会会長から県防犯協会専務理事へ目録を手渡しました。また寄贈品を使ったデモンストレーションも行われ、防犯への有効性を確認いただきました。



36 徳島県



防災意識を高めるため夏休み親子ラジオ工作教室を開催

将来起こりうる南海トラフ巨大地震などに備え防災意識を高めるため、小学生の親子を対象とした「JA共済 presents 学ぼう防災 夏休み親子ラジオ工作教室」を開催しました。災害に強い媒体として知られるラジオの組み立てのほか、防災士の講話や防災食の試食などが行われました。参加者からは、「防災食が想像以上においしかった」「また参加したい」などの声をいただき、楽しみながら防災について学んでいただくことができました。



39 高知県



消防・救命救急体制充実のため消防機関へ救急資機材などを寄贈

山間部が多い県内で高度な救命措置を行うため、4つの消防機関へ救助資機材や消防指令車、赤バイなどを寄贈しました。消防機関へは1973年から毎年、車両や資機材等の寄贈を行っています。寄贈式では、各消防機関などから「寄贈品を活用することで地域住民の安心・安全につなげていきたい」との喜びの声を聞くことができました。



九州・沖縄エリア

- 福岡県
- 熊本県
- 鹿児島県
- 佐賀県
- 大分県
- 沖縄県
- 長崎県
- 宮崎県



やっと日本一周です。
いろいろな発見がありました。

40 福岡県



うんも
リチア雲母

地域とのつながり強化のため 「高校生レシピコンテスト」を開催

地産地消の拡大と地域とのつながりを強化するため、柳川市内3校の高校生を対象に「JA柳川の農産物を使った「高校生レシピコンテスト」を開催しました。令和5年度は、レシピ部門、SNS映え部門に合計253点の応募があり、表彰式では、グランプリ、準グランプリ、特別賞を発表し、入賞者に賞状と副賞を贈りました。形にこだわらない自由な発想、アイデアあふれる作品が多く、農産物を広くPRし、地域とのつながりが強まりました。



43 熊本県



りんがいせき
鱗珪石
(トリディマイト)

女子長距離競技者の育成のため 「熊日郡市対抗女子駅伝」に協賛

県内女子長距離競技者の育成と強化、競技人口の拡大、各郡市の親睦融和のため「第41回熊日郡市対抗女子駅伝」に協賛し、開会式では参加賞、閉会式では優勝旗、賞状、メダル、楯、副賞等を授与しました。また、「大会応援カイロ」を4,000個作製し、選手や関係者、応援に来られた方に配布しました。本大会は熊本の新春を飾る恒例の駅伝で、当日の様子は熊日電子版にてリアルタイムで動画配信され、多くの方に応援いただきました。



46 鹿児島県



きんこうせき
金鉱石(自然金)

交通安全を願い ラッピングバスで啓発活動を実施

「交通安全」への願いを地域の皆さまへ届けたいという想いと、作品コンクールで入賞したすばらしい作品をより多くの方に見ていただくため、子どもたちの入賞作品でラッピングした市営バス2台を走らせ、地域住民へ交通安全を呼びかけました。バスには1年ごとに入賞作品を貼り替えています。ラッピングバスは市内の中心部を走るため、県内外の方に目にさせていただく機会が多く、とても有意義な活動となっています。



41 佐賀県



りょくちうせき
緑柱石

小学生の登下校時の安全を守るため 反射材付きベストを寄贈

小学生の登下校時の安全を守るため、反射材付きのベスト500着を県交通安全協会に寄贈しました。平成20年からの累計寄贈数は横断旗1万2,270本、ベスト2,870着にのぼります。贈呈式では、県交通安全協会会長より「目立つので、登下校中の児童・生徒の安全と、日々交通安全を指導する見守り隊や地域の皆さまの事故防止に役立つ」と謝辞をいただきました。子どもたちが安全・安心に暮らせる社会づくりの一助となるよう取り組んでまいります。



44 大分県



おのいし
斧石

妊娠・出産祝いのため 母子健康手帳ケースを寄贈

次世代を担うお子さまの出産に臨む妊婦の方を祝福し、県内の市町村へ「母子健康手帳ケース」6,360個を寄贈しました。「母子健康手帳ケース」は、県内市町村の母子健康手帳交付窓口で、申請に訪れた妊婦の方に対して手帳とともに配付していただいています。妊婦の方からは「色合いやデザインが中性的でどちらの性別の赤ちゃんにも使えると思った」「ファスナーやポケットもたくさんあり便利」などの声をいただきました。



47 沖縄県



こうせき
リン鉱石

地域活性化のため 子育て応援フェスタを開催

子育て世代やプレママに向けたイベントを通して地域活性化に貢献しようと、「子育て応援フェスタ2023」を県内3か所で開催しました。フィンガーペイントやみそ玉作りなどのワークショップ、プロのカメラマンが撮影するフォトスポット、低体重で生まれた子どもとそのご家族が集う「やんばるちびっこの会」の展示会等さまざまなブースを設けました。参加者からは、「プロに家族写真を撮ってもらえないのでよかった」などの声をいただきました。



42 長崎県



にほんしき
日本式双晶水晶

交通事故から守るため 新入学児童に黄色い学童用傘を配付

小学生を交通事故から守るため、遠くからでもよく目立つ黄色い学童用傘を県内の小学校(新小学1年生)に配付しました。この傘は、県内のJAから各教育委員会へ贈呈後、JAから各小学校へ配付されました。教育委員会からは、「歩行者の交通事故防止に役立っている」「傘の一部が透明になっており周囲が見やすく、子どもたちに配慮されている」などの言葉をいただきました。今後も、交通事故未然防止に貢献してまいります。



45 宮崎県



だんぶりせき
ダンブリ石

生活利便性の向上と見守り活動のため 移動販売車両を寄贈

買い物が不便な山間部で暮らしている方や高齢者・一人世帯の日常を支援し、見守り活動の役割も担っていただくため、移動販売車両をAコープへ寄贈しました。Aコープ高千穂店にて移動販売車「とくし丸」の寄贈式および出発式を行い、その様子はニュース番組などでも報道されました。山間地域の居住者からは「車を持っていないから買い物に行くまでに時間がかかる。移動販売車が来てくれるのであれば非常に助かる」との声をいただきました。



日本全国を巡って集めた石のかけらを
はめ込んで宝箱のカギが完成しました!





おや
中から楽しそうな
声が聞こえるぞ♪

おっ!!
宝箱が開いた!



宝箱の中には、 全国の笑顔の宝石がいっぱいでした！

大会やリーグ戦があると目標やモチベーションアップにつながる！

0歳から楽しむ親子クラシックコンサートに参加しました。貴重な機会でありたいです。

全国小・中学校リズムダンスふれあいコンクールに出場しました。振付など何度も友だちや先生と話し合っただけ、この経験は私にとって一生の宝物となりました。

介助犬がもっと増えればいいなと思いました。

体も顔も絵の具まみれになって楽しかった！

目立つ帽子なので傘下校や遠足でも使っています。

子どもたちの真剣な眼差しが多く見られ、防災について学ぶよい機会でした。

子どもたちが安全に通学するのに助かっています。

傘をありがとうございました！

子どもたちが安全に通学するのに助かっています。

自転車に安全に乗るうという意識が高まりました。ヘルメットも格好よくてうれしいです。

防災教室で東日本大震災当時のラジオ放送を聞き緊迫感がありました。ラジオ作業も親子で楽しめ、勉強になりました！

軍手やタオルなど服装にも気をつける必要があることがわかりました。

身をもって体験することで安全な作業を心がける意識が生まれました。

個人では購入できない農機具を無償で貸し出してもらい生産性が向上しました。

VRを使った体験はイメージがしやすく、事故の対策も知れてよかったです。

農機具を正しく効果的に使い、農業の魅力を発信していきたい。

さつまいもの栽培教室に参加しました。大きなおいもも収穫して大満足です！

森の大切さを知り勉強になりました。

ファームステイで実際に農業を体験し農業を主体的に考えるきっかけができた。

耕作放棄地で野菜の栽培を体験。初めての作業で難しかったですが、育てる楽しさを知りました。

地元食材を使ったレシピが参考になりました！

給食で食べたアスパラガスの生育や栽培施設についてJA職員の方からクイズで教わり、楽しく学ぶことができました。

学校給食で食べた地元の牛肉を使った献立がおいしかった！

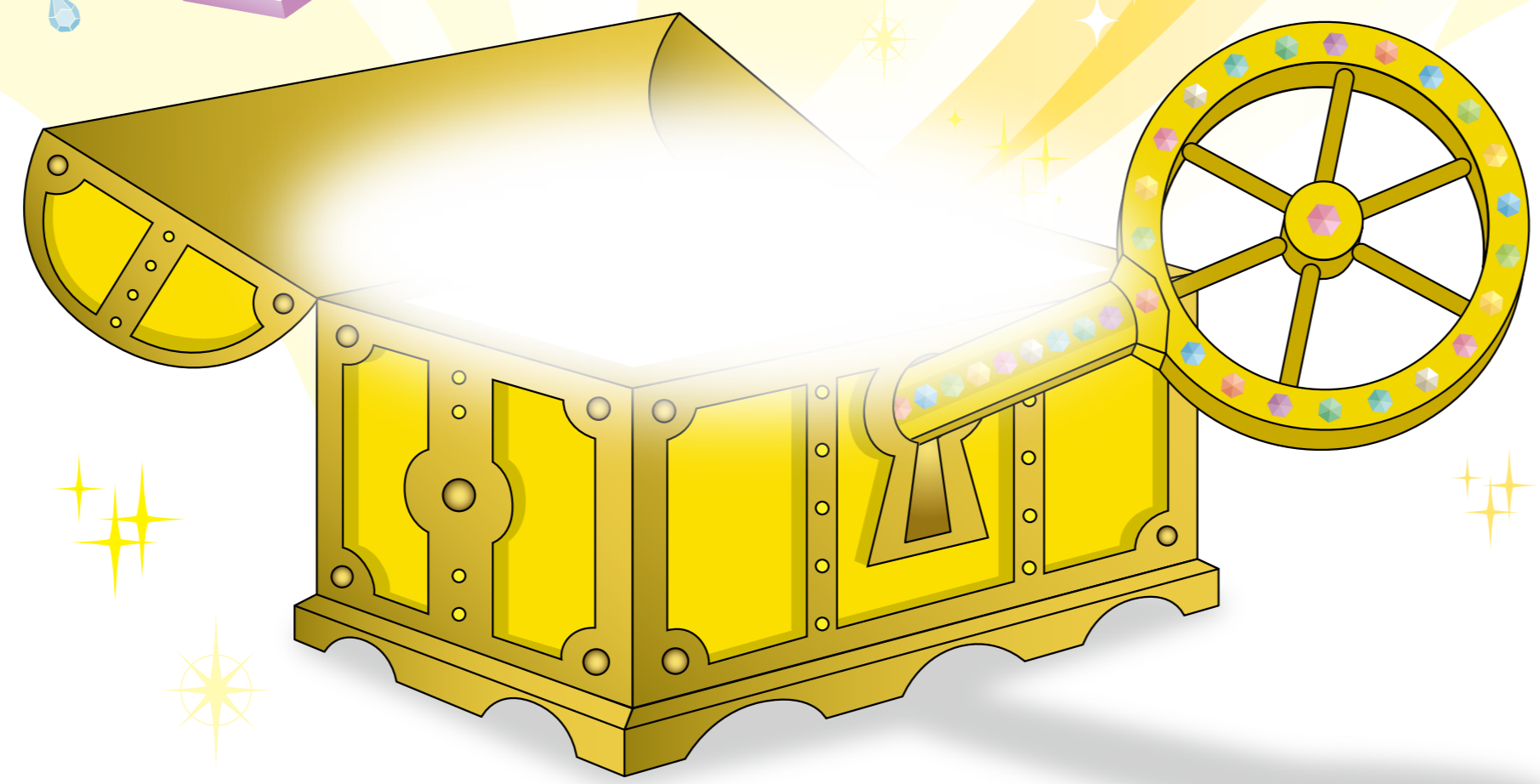
JA共済のSDGsの取り組みも輝いています！

- 1** 健康管理・増進、介護・福祉、次世代へのスポーツ・文化活動支援につながる活動を通じて、豊かな心身を育むお手伝いをしています。 > p9~12へ
- 2** 防災や減災、災害支援、交通事故未然防止につながる活動を通じて、安心して住み続けられる地域づくりに貢献しています。 > p13~18へ
- 3** 農業振興や農業者所得増大、農業リスクの軽減につながる活動を通じて、農業者を守り、農業を盛り上げ、農業の未来を支えています。 > p19~22へ
- 4** フード・マイレージ(食料の輸送距離)の低減につながる「地産地消」支援の活動を通じて、地球環境を守ることに貢献しています。 > p23~24へ

全国47都道府県の地域貢献活動をホームページで紹介しています

各都道府県の地域貢献活動をはじめ、郷土料理レシピ、祭り・伝統芸能、都道府県の魅力などを紹介しています。

サイト check!



JA共済の地域貢献活動から生まれた笑顔がいっぱいです。探していた宝箱は身近なところにあつたのです。 前田 裕太



地域の皆さまの笑顔や喜びの音が輝いています！この宝物をまた見つけに行きましょう！ 高岸 宏行

笑顔の声 ダイヤモンドの編集後記

JA共済の地域貢献活動ホームページ「ちいきのきずな」のご紹介

JA共済の地域貢献活動ホームページ「ちいきのきずな」では、地域貢献活動の詳しい内容をご覧いただけるほか、お子さまも楽しく学べる交通安全コンテンツや家族みんなの健康レシピなど、暮らしに役立つ「お役立ちコンテンツ」を紹介しています。個人や家庭、学校などで活用いただけます。



農業・生活支援に関するお役立ちコンテンツ



農作業事故の要因や傾向など、事故防止のための情報を発信



専門家が教える自宅でできる効果的な野球の練習方法や家事トレを映像で紹介



コップを試きながらトレーニングに活用できる

健康・介護に関するお役立ちコンテンツ



健やかな暮らしに役立つ、レシピ・カラダづくり・介護・Dr.コラム・相談窓口などの情報を紹介



体測定の数値に「好き」の定性評価を加味して分析できるテストを紹介



ご自宅で手軽にできる運動不足の解消に役立つJA共済オリジナル健康体操「レインボー体操」を映像で紹介



防災・防犯に関するお役立ちコンテンツ



「ザブトン教授の防災教室」の概要のほか、防災に関する知識やクイズを紹介



ティモンディが地震の揺れを体験し、備えることの重要性を紹介



防災・防犯のために日頃から備えるべきポイントを紹介



交通安全に関するコンテンツ



ヘルメットの着用効果を映像やチラシで紹介



通学路の危険なポイントを親子で一緒に確認できる資料を紹介



小学生向けに基本的な交通ルールを映像やガイドブックで紹介



教科書にも採用されています!



ターゲットに合わせて、交通安全の知識・教育方法を紹介



電動キックボード等の交通ルールを映像やチラシで紹介



幼児向けに交通ルールをゲームやクイズなどで紹介



中高生向けに自転車の交通ルールを映像で紹介



高齢ドライバー向けに危険運転の対処法などを映像やパンフレットで紹介



シルバー世代向けに交通事故や詐欺被害防止に役立つ情報を紹介



その他 地域貢献活動に関するコンテンツ

● Instagram「どやふる/DOYAFUL Powered by JA共済」



各地域の「食や人の魅力」と「JA共済の地域貢献活動」を紹介



● 交通安全INFORMATION



交通安全に役立つコンテンツを紹介



● ティモンディの地域貢献レポート



ティモンディがJA共済の取り組みを体験し、映像で紹介

